

TAKE FREE

# KOMOTO STYLE

Vol.23 2021  
Spring-Summer

お店づくり特集号



## DOG SALON & SHOE STORE

「わんちゃんもひと居心地のいいドッグサロンができました」

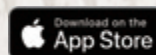
「歴史ある街角の靴屋さんが新店舗でリニューアルオープンしました」

ふたつのストーリーをお届けします。

※マスク、消毒、ソーシャルディスタンス等、新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮して取材をさせていただきました。



アイコンにスマホをかざすと愉快的取材シーンを視聴できます。  
あなたのスマートフォンに無料アプリ「COCOAR2」をダウンロード、インストールしてください。



# USER REPORT #01

リフォーム  
ユーザーレポート

館林市  
DOG SALON Bell-Suite

## こだわりのリフォームで つくり上げた ラグジュアリーなドッグサロン

2021年2月、館林市緑町にオープンした「DOG SALON Bell-Suite」(ドッグサロンベルスイート)。ワンちゃんのシャンプーやカット、爪切りなどのケアを行うトリミングサロンです。シックで落ち着いた雰囲気のサロンですが、もともとはまるで倉庫のような状態の居抜き物件だったのだとか。元の面影がないほどガラリとイメージを大変身させたリフォームについて、オーナーの鈴木さんにお話を伺いました。



河本スタッフとの二人三脚で、素敵なサロンが完成しました



「ぜひ一度ワンちゃんをご来店いただいて、サロンの雰囲気を楽しんでもらいたいです」



リフォーム前の写真を見ながら思い出話



Before

### 「建ててからがお付き合い」河本工業との信頼関係

トリミングとは、犬の毛をシャンプーしたりカットしたりしてキレイに整えるケアのこと。犬にとってトリミングは、見た目の美しさだけでなく、皮膚病予防など健康を守る上でも大切なものです。鈴木さんはトリマーとして約20年のキャリアを積んだ後、独立を決意。サロンのオープンに向けて、昨年半ば頃から物件探しを始めたそうです。この場所に構えた理由を、「第一にお客様にとっての利便性。また、このテナントは居抜き物件で、前に入っていた美容室の配管がそのまま残っていました。トリミングサロンは一般の店舗に比べて配管が特殊なので、既存の設備をうまく活用しようと思ったんです」と語ってくれました。「リフォームにあたっては、設計事務所を営んでいる兄に設計をお願いしました」という鈴木さん。サロンの内装や外観なども、お兄様と相談しながら具体的なイメージを固めてい

ったそうです。そして今年の年明けから工事がスタート。リフォーム工事を河本工業に依頼した背景には、河本スタッフとの以前からの縁がありました。「実は5〜6年前、自宅を河本工業さんに建ててもらったんです。当時、担当の方が『建ててからがお付き合いですから』と言ってくれたのがとても印象に残っていますね。その言葉通り、家が完成してからも何かあれば電話をすればすぐに来てくれますし、いろいろサポートしていただけます。河本工業さんなら信頼してお任せできる、地元で一番の建築会社だと思っています」。リフォーム工事中のやりとりについても、「施工担当者の富岡さんには何でも相談できました。富岡さんのお人柄もあり、些細なことも話しやすかったです」と鈴木さんは言います。河本スタッフとのコミュニケーションで「理想のイメージ通り!」というサロンが完成しました。



After

右手の壁にある埋め込み棚はクロスを貼り直して活用。壁上部の隙間は完全にふさぎました



After

もともとの入口周りはそのままだが、洗練されたスタイリッシュなイメージにチェンジ



Before



きれいなドッグサロンで快適だワン!



ワンちゃんが快適・安全に過ごせるように配慮されたトリミングルーム

## ラグジュアリーなこだわりの内装

「Bell-Suite」の特長のひとつが、高級感のあるシックな内装です。「店名の『Suite』は、ホテルのスイートルームをイメージしているんです」と鈴木さん。「来店したお客様にゆったりとくつろいだ気分で過ごしていただきたい」という思いから、ブラウンを基調とした落ち着いた雰囲気の内装にこだわったそうです。そんな理想のイメージを実現するため、河本スタッフからも提案が、「以前の店舗の名残で壁に凸凹があったので、美しく仕上げるために、壁の上からカバーのようにもう1枚壁を作ることにしました。もともとの壁のままクロスを貼ってしまえば簡単ですが、それではキレイに仕上げることができませんから」と、富岡さん。隣で話を聞いていた鈴木さんも、「サロンのイメージに合わせて、受付カウンターも河本工業さんに作ってもらったんです」と、満足そうに話してくれました。また、サロン内は、人だけでなくワンちゃんも快適・安全に過ごせるような配慮がされています。たとえば、待合スペースとトリミングルー

ムを分ける壁は、当初は上部を開けておくことも検討していたそう。しかし、ワンちゃんは人間よりも暑さに弱く、お湯やドライヤーを使用するトリミング中の熱中症リスクを防ぐためにも、壁を完全に閉じてそれぞれエアコンで室温管理をすることにしたいといいます。サロンの待合スペースからは、大きな窓越しにワンちゃんのトリミングの様子を見ることができます。中には、トリミングが終わるまでずっとサロン内で待つお客様もいるのだとか。ラグジュアリーな雰囲気、きっと居心地が良いのでしょうね。



大きな窓の向こうはトリミングルームです

## 配線や配管に居抜き物件ならではの苦労も

「Bell-Suite」がオープンした場所は、以前入っていた店舗の設備などがそのまま残された居抜き物件でした。過去には3~4店舗が入退居していたテナントだといいますが、そこには店舗リフォームならではの難しさもあったようです。「床のクロスを剥がすと前のお店の床が、それを剥がすとさらに前のお店の床が出てくるんですよ。本来ならきちんと下地を処理するべきなんですけど、費用を抑えるためにそのままクロスを貼ったんでしょね」と、富岡さん。同じく配線や配管も過去の店舗のものが混在していたようで、鈴木さんも「電話線なども、どれが使えるのか全くわからない状態

でした」と振り返ります。天井に穴を開けて電気配線を調べたり、給水管と排水管を整備したりと苦労も多かったようですが、富岡さんは「大変ではないですよ。店舗リフォームなら当然のことです」と言います。一方、残されていた設備の中にはサロンでそのまま使用できたものも。入口脇に設けられた棚は、そのままグッズ販売コーナーに。落ち着いた色味もサロンの雰囲気にピッタリです。また、待合スペースのニッチ(飾り棚)は、以前からあった棚にクロスを貼ったのだとか。臨機応変なアイデアで、既存の設備が上手に活用されていました。



After

テナントに残されていた棚をそのまま活用してグッズ販売コーナーに



棚に並ぶワンちゃんグッズは、鈴木さんのご友人が制作したものだそう



Before



DOG SALON Bell-Suite  
住所／群馬県館林市緑町2-8-11  
TEL／0276-78-7577  
受付時間／10:00～18:00  
定休日／月曜日、第2日曜日

## ワンちゃんと飼い主さんが 幸せな時間を過ごすお手伝いがしたい

完成したサロンについて、鈴木さんは「思い描いた通りの理想のサロンができました!」と満面の笑顔。お客様からも「すごく素敵ですね」と好評だといいます。「私がトリマーとして一番うれしいのは、飼い主であるお客様がトリミングを終えたワンちゃんと対面して、『かわいくなった!』と喜んでくださる瞬間です。シャンプーやカットでキレイになったワンちゃんももっともかわいがってもらって、飼い主さんとのコミュニケーションの時間が増えるといいな、と思っています。同時に、シニア犬のケアにも力を入れていきたいですね。年をとっていろいろな所が悪くなってきたワンちゃんを、その生涯を終えるまでサポートしてあげたい。飼い主さんとワンちゃんが一緒に過ごす幸せな時間のために、少しでもお手伝いができれば、と願っています」。

「今後はサロンの外に照明をプラスするなど、また富岡さんに相談しながらいろいろ考えていきます」と言う鈴木さんに、富岡さんも「何でも言ってくださいね!」とニコリ。これからも頼もしいパートナーシップが続いていきそうです。ワンちゃんや猫ちゃんに対するたっぷりの愛情と、トリマーとしての確かなスキルを持つ鈴木さん。河本工業との二人三脚で作上げた理想のサロンは、きっと多くの方に愛されるのでしょうね。



サロン名を記したプレートや、スポットライトの柔らかな光が照らします



DOG SALON  
**Bell Suite**



ドッグサロン ベルスイート TEL.0276-78-7577

住所／群馬県館林市緑町2-8-11  
受付時間／10:00～18:00 定休日／月曜日、第2日曜日



### 完成後に気になる点が出てきたら、 どうすればいいですか?

河本リフォームセンター 富岡雅則

新築もリフォームも「完成したら終わり」ではありません。実際に住んでみたり、お店を営業してみたりする中で「もっとこうしたい」という思いが出てくることもよくあります。もし気になる点があったときは、遠慮なくいつでもご連絡ください。照明1つ、窓1つでも、よりよい環境づくりのためのご提案をさせていただきます。お客様との末長いお付き合いを通して、何でも安心して頼っていただける存在を目指したい。それは私だけでなく、河本スタッフ全員の思いです。



スマホをかざしてね!



# USER REPORT #02

新築  
ユーザーレポート

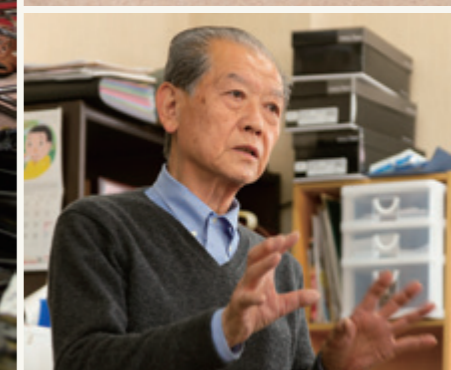
館林市  
愛靴の店 コグレ



「靴のお手入れやお直しのことなども、お気軽にご相談ください」



「商品棚の間に鏡を置くことで、店内を広く見せているんですよ」



使込まれた修理道具



## 街角の靴屋さんが新店舗でリニューアルオープン

館林市の本町一丁目商店街で長く親しまれている「愛靴の店 コグレ」。道路の拡幅工事にもなって店舗兼住宅を取り壊し、新たに建て直すことになりました。今年1月に新店舗が完成し、以前と同じ場所でリニューアルオープン！取材に伺った3月のこの日も、新年度からの通学靴を買い求める親子など、たくさんのお客様が訪れていました。新しく生まれ変わったお店と住まいについて、店主の萩原さんにお話を聞きました。



愛靴の店 コグレ  
住所 / 群馬県館林市本町1-2-2  
TEL / 0276-72-0847  
営業時間 / 9:30~19:00  
定休日 / 年中無休(年始を除く)

### 道路の拡幅計画にともない店舗と住居を建て替え

「愛靴の店 コグレ」がこの地で営業をスタートしたのは、1958(昭和33)年のこと。それ以前も先代が終戦直後から別の場所で靴店を営んでいたという、70年以上にわたって地域に愛され続けている老舗の靴屋さんです。現在は革靴から運動靴、ファッションシューズまで多数の商品を取り揃え、靴の修理やお手入れの相談にも対応。近隣の学校の指定靴も多く取り扱っています。そんな“まちの靴屋さん”が建て替えをすることになったのは、店の前を走る本町通りの拡幅工事のためでした。1階が店舗、2階が住居という形で交差点の角地に建っていた建物を、道路の拡幅にあわせて新しく建

て直すことになったそうです。「河本工業さんは代表が商工会議所の会頭を勤めていらしゃったこともあり、以前から商店街を通じてお付き合いがありました。もともと非常に手堅い仕事をする会社だという印象がありましたから、大切な店づくりもお任せできると思ったんです」と語るのは、店主の萩原さんです。工事期間中は、すぐ近くのかごめ通り商店街に設けた仮店舗に移っていたそう。今年1月、ついに新店舗が完成し、元の場所に戻って営業を再開しました。

### 店舗フロアをできるだけ広くするため設計を工夫

新しく完成した建物は、以前と同じく1階が店舗、2階が住居というスタイル。かつては住居と一緒にいたという倉庫は1階に移動させ、販売フロアの奥に在庫を保管するバックヤードを設けました。2階の住まいには建物外の玄関のほか、店の奥からも直接出入りができるようになっています。お店の新築にあたり、萩原さんが希望したのが「店舗フロアをできるだけ広くとりたい」ということでした。実は道路の拡張によって、道路に接していた萩原さんのお店は、元の面積の4分の3弱までスペースを縮小せざるを得なくなりました。フロアを最大限確保するために、お店の入口は道路に対して斜めに

設置。「何とか広くできないかと河本工業さんをお願いしたんですよ」という萩原さんに、現場監督の小林さんも「建物の角度にもルールがあるので、その範囲内でギリギリまで広げられるように工夫しました。設計担当者もいろいろと頭を悩ませたようです」と続けます。白、アイボリー、グレーの3色を使ったレンガ調の外壁は、「お店を大きく見せられるように白を基調にしつつ、壁面ごとに違う色で表情に変化を」という萩原さんのアイデアです。いくつもの色を使ってもオシャレで統一感があり、リニューアルに合わせて新しくしたという看板もよく映えます。

### 店内を広く見せる内装のヒミツ

売り場にはたくさんの靴がズラリと並んでいますが、店内はスッキリと広く見えます。そこには、「来店するお客様に快適に過ごしていただきたい」という、萩原さんと河本スタッフの工夫がありました。「一般住宅とは異なり、店舗の場合は柱や壁のない広いスペースが必要です。木と鉄を組み合わせたテクノストラクチャー工法を採用し、たくさんの柱がなくてもしっかりと強度を保てるよう工夫しました」と、小林さん。どうしても必要な柱は観葉植物で飾り、明るい雰囲気を生み出しています。また、小林さんが「センスがいい」という壁紙の色は、萩原さんのセレクト。あえて真っ白で

はなく明るいアイボリーを選び、温かさや開放感を両立させています。天井の淡いグリーンの色味とスポットライトも、とてもオシャレ。赤いカラーで仕上げられた梁が、良いアクセントになっています。その天井について小林さんは「梁を隠して天井を平らにすることもできたのですが、そうするとその分天井が低くなってしまいます。“見せるデザイン”で天井に高さを出し、店内を広くとしたイメージにしたいと考えました」と語ります。店内をスッキリと見せるため、エアコンも天井埋め込み式ではなく壁掛けタイプを提案したのだとか。これなら今後、照明器具をチェンジしたいと考えたときなども対応できますね。

## お店の2階には快適な住まいが完成

お店の裏手には住居へ続く玄関があり、ドアは明るい赤色です。「私が『赤色がいい』と言って選んだんですよ。目立つし、何となく童話調でいいでしょう」という萩原さんに続けて、小林さんが「お店の天井や棚にポイントカラーとして赤を使っているのも、この玄関ドアの色がヒントになっているんですよ」と教えてくれました。

また、住まいの間取りについても萩原さんのこだわりが、2階の一部を少し外側に突き出し、トイレや浴室、洗面所をそこにまとめて設置するように、当初の設計を変更してもらったそうです。「河本さんに無理難題を言ってしまうって…」という萩原さんですが、おかげで水回りの使い勝手も良いといいます。

また、萩原さんが「我が家の自慢」と紹介してくれたのが、2階の部屋からつながるとも広いベランダです。目の前には館林の街並が広がり、陽当たりもバッチリ。椅子やテーブルを出してくつろいでも、まだまだスペースには余裕がありそうです。

1月のリニューアルオープン以来、お客様からも「おしゃれでキレイ」「いいお店ができたね」と、多くの好評の声が寄せられているのだとか。館林のまちで長く続く「愛靴の店 コグレ」には、2代にわたって買い物に訪れてくれるお客様もいるそうです。建て替えて心機一転、これからもずっと、地域の人々に愛されるお店であり続けることでしょう。



「自慢のベランダです」とニコリ

白・アイボリー・グレーの3つのカラーを使った外壁がオシャレ

教えて！  
河本さん  
ANSWER  
FROM  
KOMOTO STAFF

### 夏に向けた 住まいの準備のポイントは？

住宅事業部 工事長 小林浩之

今の時期に検討をおすすめしたいのはエアコンの買い換えです。夏になるとエアコンの取付工事は混み合いますし、近年では初夏でもエアコンが必要な暑い日があります。最近では菌やウイルス、花粉などの抑制効果のあるエアコンも多いので、気になる方はぜひご相談ください。また、夏の暑さ対策には窓のサッシやガラスフィルムも有効です。既存のサッシの内側にもう1枚サッシを取り付けて、大掛かりな工事を行うことなく断熱・防音効果を高める方法もあります。



早めの準備が大切

スマホをかざしてね！

愛靴の店  
コグレ

大切な愛靴の修理もお任せください

## 愛靴の店 コグレ

TEL.0276-72-0847

群馬県館林市本町1-2-2 営業時間/9:30~19:00



## 河本工業株式会社

〒374-0057 館林市北成島町2544

新築のご用命はこちら

TEL.0276-72-3325

FAX.0276-72-3327

komoto-style.jp

河本工業 住宅

検索

リフォームのご用命はこちら

☎ 0120-75-9188

本情報誌への掲載や出演のお問い合わせは info@coiki.net まで

### POSTSCRIPT

『DOG SALON』を新規出店された鈴木様は、新築住宅のOB様で今回の店舗リフォーム工事を当社にご用命いただけたことは、「お客様との未永いお付き合い」を大切にしている当社にとって、正に「暮らしとつくり手の絆」と大変感謝申し上げます。一方、「愛靴の店 コグレ」様は、老舗の靴屋さんで昔から多くの方々から愛されてきたのは店主である萩原様のお人柄と靴職人としての誇りだと思えます。後継者がいないために店終いをされている方が多い中で、萩原様の「館林を元気ある町にするまでは」まだまだ引退はできないとおっしゃっていたことを思い出します。鈴木様・萩原様の店舗が千客万来、そして益々のご繁盛をされることを祈念いたします。

KOMOTO STYLE 編集委員会 編集長 山本 悟